



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月1日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東  
 コード番号 2907 URL <https://www.ahjikan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 足利 直純  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 森屋敷 登 TEL 082-277-7010  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	12,173	3.0	478	240.6	679	72.7	475	73.3
2024年3月期第1四半期	11,822	5.5	140	20.2	393	△1.7	274	8.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 618百万円 (59.9%) 2024年3月期第1四半期 386百万円 (△0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	62.44	—
2024年3月期第1四半期	36.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	27,640	16,272	58.9	2,138.07
2024年3月期	27,640	15,844	57.3	2,081.84

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 16,272百万円 2024年3月期 15,844百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	25.00	25.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,500	1.0	900	54.6	1,100	13.8	750	14.0	98.54
通期	51,000	1.5	1,600	△6.4	1,700	△25.0	1,200	△20.5	157.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2024年8月1日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	7,700,000株	2024年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	89,053株	2024年3月期	89,053株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	7,610,947株	2024年3月期1Q	7,610,947株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境が改善する中、停滞していた景気の緩やかな回復が期待される状況となりました。しかしながら、円安進行による物価上昇に加え、金融資本市場の変動、欧米における金利水準の上昇、中国経済の先行き懸念、中東地域をめぐる情勢など景気回復の下振れリスクも台頭しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、資源価格の高騰や円安進行によって輸入品の仕入価格や諸経費が高値で推移していることに加え、2022年の冬場以降に発生した大規模な鳥インフルエンザの影響により大きく落ち込んだ鶏卵の需要が完全には回復しておらず、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「“おやくだち”の精神でお客さまや取引先、株主、社会へ貢献し、社員がいいきと働く風土づくりと安定した収益構造および価値創造ビジネスの推進により、“選ばれる企業”として持続的に成長していく」ことを基本方針とした第13次中期経営計画の初年度をスタートさせ、第一に「収益構造改革の完遂」、第二に「業務用事業の質的成長と拡大」、第三に「ヘルスフード事業、海外事業の成長拡大」、第四に「ごぼう事業、市販事業の新たな価値の創造」、第五に「経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,173百万円（前年同四半期比3.0%増加）となり、前年同四半期実績を上回りました。一方、利益面につきましては、ヘルスフードにおける戦略的な広告宣伝活動の実施や、物流コストの上昇、人事制度の見直しに伴う人件費の上昇などもありましたが、売上高の拡大効果もあり、営業利益は478百万円（前年同四半期比240.6%増加）となりました。経常利益は、デリバティブの時価評価益や為替差益などにより679百万円（前年同四半期比72.7%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は475百万円（前年同四半期比73.3%増加）となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ①業務用食品等

販売面におきましては、前第1四半期連結累計期間は鶏卵原料の供給制限に伴う販売抑制の影響があったため、玉子製品を中心に自社製造製品が大きく伸長し、国内売上高は前年同四半期実績を上回る結果となりました。他方、海外輸出売上高につきましては、中国における水産加工品の輸入停止措置の影響は依然として継続しているものの、連結子会社のAHJIKAN FOODS, INC.において現地での営業活動を本格化させたこともあり、北米の売上が大きく伸長したほか、オセアニアや東南アジアを中心に需要が拡大し、前年同四半期実績を上回る結果となりました。加えて、当第1四半期連結会計期間より、営業部門へ「巻MAK I課」を新設し、SNSへの積極的な情報発信、巻寿司教室の開催、フードイベントへの出店など、巻寿司の魅力を伝える活動を強化しております。

生産面におきましては、当社の主要原材料である干瓢や椎茸の仕入価格が上昇しましたが、鶏卵価格が安定して推移したことに加え、生産高の伸長により固定費率が低下したことや、生産効率の向上に努めたことなどにより、製造原価率は前年同四半期に比べ大幅に低下しました。

販売費につきましては、増収に伴う変動費の増加に加え、人件費や物流コストの上昇などにより、前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、外部顧客への売上高は11,178百万円（前年同四半期比3.0%増加）となり、セグメント利益（営業利益）は965百万円（前年同四半期比154.8%増加）となりました。

#### ②ヘルスフード

販売面におきましては、通信販売では、テレビCMを中心に積極的な広告宣伝を実施したことなどもあり、新製品である機能性表示食品「焙煎ごぼう茶ごぼうのおかげW」の売上が好調に推移したことに加え、定期顧客数が増加したことで、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。他方、ドラッグストアなどでの市販品では、新規開拓やインスタプロモーションの強化を行ったことなどにより、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

生産面におきましては、主要原材料であるごぼうが高値で推移しましたが、生産高が増加したことで固定費率が低下したこともあり、製造原価率は前年同四半期並みとなりました。

販売費につきましては、増収に伴う変動費の増加に加え、戦略的な広告宣伝の実施、人件費の上昇などにより、前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、外部顧客への売上高は881百万円（前年同四半期比3.7%増加）となりましたが、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同四半期比54.2%減少）にとどまりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末とほぼ同額の27,640百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し14,748百万円となりました。主な増減要因は、その他に含まれる前払費用の増加100百万円、その他に含まれる為替予約の増加97百万円、現金及び預金の増加86百万円、受取手形及び売掛金の減少217百万円、商品及び製品の減少88百万円、原材料及び貯蔵品の減少73百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加し12,892百万円となりました。これは、減価償却の進行による減少もありましたが、有形固定資産においてその他に含まれる建設仮勘定が増加したことに加え、無形固定資産においてソフトウェア仮勘定が増加したことや、投資その他の資産において投資有価証券やその他に含まれる子会社出資金が増加したためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ428百万円減少し11,368百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ711百万円減少し9,855百万円となりました。主な増減要因は、賞与引当金の増加297百万円、買掛金の増加151百万円、短期借入金の減少700百万円、未払法人税等の減少353百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ283百万円増加し1,512百万円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加313百万円などです。

なお、当第1四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ311百万円減少し4,996百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ427百万円増加し16,272百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加475百万円、為替換算調整勘定の増加108百万円、その他有価証券評価差額金の増加25百万円、剰余金の配当による減少190百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント増加し58.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、概ね当初予想どおりで推移しております。

利益面につきましては、鶏卵価格が足元において当初見込みを下回る状況で推移していることや、加工費の低減、諸経費の抑制などにより、営業利益は当初予想を上回る状況で推移しております。また、想定以上に円安が進行したことで、為替予約の時価評価益や決済差益が拡大し、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも当初予想を上回る状況で推移していることから、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(累計)の業績予想を修正しております。

なお、通期の業績予想につきましては、原材料費・為替・株価など先行き不透明で流動的な要素も多いことから前回予想を修正しておりません。

詳細につきましては、本日(2024年8月1日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,176,519	2,262,567
受取手形及び売掛金	※ 7,208,959	※ 6,991,726
商品及び製品	3,069,695	2,980,731
仕掛品	59,767	56,925
原材料及び貯蔵品	1,691,695	1,618,155
その他	631,262	845,701
貸倒引当金	△20,916	△7,560
流動資産合計	14,816,985	14,748,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,473,648	3,444,503
機械装置及び運搬具（純額）	1,744,988	1,675,921
土地	3,962,965	3,964,029
リース資産（純額）	211,888	220,335
その他（純額）	468,270	532,526
有形固定資産合計	9,861,762	9,837,317
無形固定資産		
ソフトウェア	597,349	564,897
ソフトウェア仮勘定	104,975	129,792
リース資産	18,232	15,262
その他	3,509	3,688
無形固定資産合計	724,065	713,641
投資その他の資産		
投資有価証券	911,974	941,375
長期前払費用	738	1,532
繰延税金資産	—	14,532
退職給付に係る資産	472,567	483,915
その他	887,320	934,115
貸倒引当金	△34,552	△33,834
投資その他の資産合計	2,238,047	2,341,636
固定資産合計	12,823,876	12,892,594
資産合計	27,640,861	27,640,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,024,250	3,175,371
短期借入金	3,930,000	3,230,000
1年内返済予定の長期借入金	477,560	552,560
リース債務	113,299	121,961
未払法人税等	660,376	307,237
賞与引当金	332,100	629,422
役員賞与引当金	—	10,674
契約負債	62,353	59,255
その他	1,966,902	1,769,162
流動負債合計	10,566,842	9,855,643
固定負債		
長期借入金	901,090	1,214,200
長期未払金	60,672	60,672
リース債務	146,217	143,669
資産除去債務	54,213	54,237
退職給付に係る負債	19,305	20,340
繰延税金負債	46,265	17,838
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,229,263	1,512,459
負債合計	11,796,106	11,368,102
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	12,798,721	13,083,682
自己株式	△64,426	△64,426
株主資本合計	14,935,535	15,220,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,829	376,591
繰延ヘッジ損益	3,073	11,699
為替換算調整勘定	555,316	663,952
その他の包括利益累計額合計	909,220	1,052,243
純資産合計	15,844,755	16,272,739
負債純資産合計	27,640,861	27,640,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	11,822,183	12,173,327
売上原価	9,002,827	8,860,297
売上総利益	2,819,356	3,313,030
販売費及び一般管理費	2,678,808	2,834,313
営業利益	140,547	478,717
営業外収益		
受取利息	203	794
受取配当金	10,494	16,052
持分法による投資利益	21,709	31,444
長期為替予約評価益	166,947	85,250
為替差益	54,112	74,143
その他	11,412	5,811
営業外収益合計	264,880	213,497
営業外費用		
支払利息	7,893	8,422
その他	3,917	3,934
営業外費用合計	11,811	12,356
経常利益	393,616	679,858
特別利益		
固定資産売却益	1,859	250
投資有価証券売却益	—	14,832
特別利益合計	1,859	15,083
特別損失		
固定資産除却損	0	75
特別損失合計	0	75
税金等調整前四半期純利益	395,476	694,866
法人税、住民税及び事業税	193,151	277,845
法人税等調整額	△71,961	△58,213
法人税等合計	121,190	219,631
四半期純利益	274,286	475,234
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,286	475,234



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	274,286	475,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,384	25,761
繰延ヘッジ損益	11,034	8,625
為替換算調整勘定	35,566	83,269
持分法適用会社に対する持分相当額	8,287	25,366
その他の包括利益合計	112,272	143,023
四半期包括利益	386,558	618,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386,558	618,257
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	8,129千円	3,410千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	257,747千円	281,636千円

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,850,188	850,006	11,700,194	121,989	11,822,183	—	11,822,183
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	133,765	133,765	△133,765	—
計	10,850,188	850,006	11,700,194	255,754	11,955,949	△133,765	11,822,183
セグメント利益 又は損失(△)	378,787	96,065	474,852	△9,784	465,068	△324,520	140,547

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△324,520千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△353,442千円及び棚卸資産の調整額28,921千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,178,419	881,742	12,060,161	113,166	12,173,327	—	12,173,327
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	152,824	152,824	△152,824	—
計	11,178,419	881,742	12,060,161	265,990	12,326,152	△152,824	12,173,327
セグメント利益	965,322	44,014	1,009,337	987	1,010,324	△531,607	478,717

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益の調整額△531,607千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△538,107千円及び棚卸資産の調整額6,500千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。